

経営比較分析表

大分県 姫島村

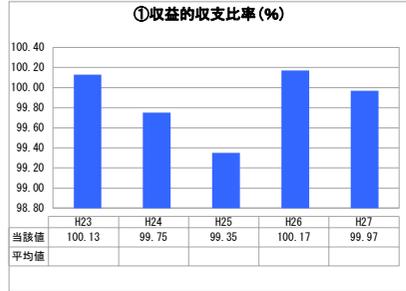
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	
法非適用	下水道事業	漁業集落排水	H2	
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20㎡当たり家産料金(円)
-	該当数値なし	16.29	53.78	2,160

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
2,202	6.98	315.47
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
357	0.19	1,878.95

グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



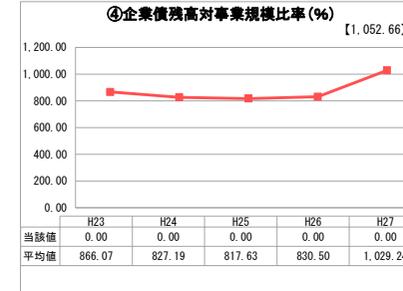
「単年度の収支」



「累積欠損」



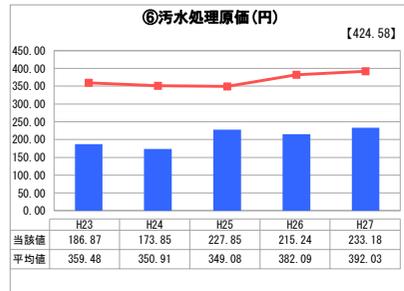
「支払能力」



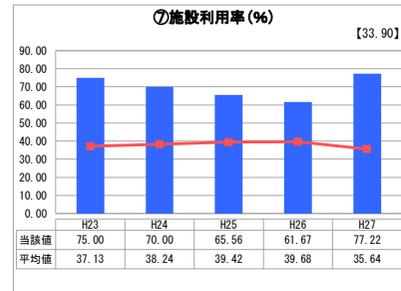
「債務残高」



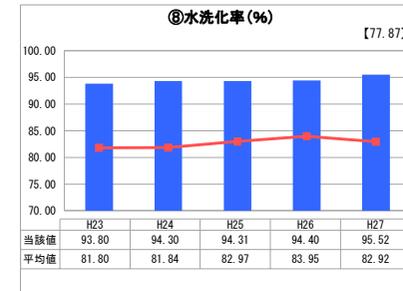
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」



「施設の効率性」



「使用料対象の捕捉」

2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管渠の経年化の状況」



「管渠の更新投資・老朽化対策の実施状況」

分析概

1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率については、使用料収入は人口の減少により減少しているものの、一般会計からの繰入を行い収支比率は過去5年を見ても概ね100%の水準を保っている。引き続き、使用料収入の確保及び維持管理費の節減に努める。

④債務残高については、漁集3施設の浄化センター建設等の施設整備に村債を発行しているが、債務残高は減少している。また、後年度の負担にならないよう、交付税措置の無い村債は発行しない。償還には一般会計からの繰入金を充てているため、企業債残高対事業規模比率は0%となっている。

⑤経費回収率については、歳出削減策を行っていることもあり、類団平均に比して高い。今後も引き続き物件費等の節減に努め、経営の健全化を図る。

⑥汚水処理原価については、類団平均に比して低いが、今後も引き続き未接続世帯の加入促進を図り、有収水量の増加に努める。

⑦施設利用率については、人口の減少に伴う処理量が減少しているため、年々低下している。

⑧水洗化率は、類似団体と比較すると高い状態だが伸び悩んでいる。引き続き、未接続世帯への普及促進を図り、水洗化率の向上に努める。

2. 老朽化の状況について

平成7～9年度から漁集3施設の供用開始し、20年経過しているため、施設の老朽化が進んでいる。平成32年度よりストックマネジメントを踏まえ、施設の延命化工事を行い、維持補修費の縮減に努める。

全体総括

施設の老朽化が進んでおり、今後行われる施設の延命化工事に伴う村債の発行により、地方債償還費の増加が見込まれるが、交付税措置の無い村債は発行しない等の運用を引き続き行い、未接続世帯への加入促進による料金収入の増加に努め、経営の健全化を図る。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、企業債残高対事業規模比率及び管渠改善率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。